



瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



2020年6月21日 年間第十二主日A年

瀬田教会主任司祭 小西広志神父

第一朗読：エレミヤ書20章10-13節

第二朗読：ローマの信徒への手紙 5章12-15節

福音朗読：マタイによる福音書10章26-33節

今日のテーマ：「^{おそ}恐れるな」

今日の三つの朗読には「^{かんじょう}恐れ」の感情のいろいろな姿が表れています。「^{こわ}恐れ」、「^{こわ}怖い」というところの動きは人間に^{そなわ}備わった感情です。

第一朗読で^{よげんしゃ}預言者エレミヤのころはゆれ動きます。一方で、^{いつぽう}彼には「^{おそ}恐れ」がありました。周りの人々の^{むりかい}無理解と^{こうげき}攻撃への^{おそ}恐れです。^{あか}敵が今にも襲ってくるというさし^{せま}迫った「^{おそ}恐れ」です。他方で、^{あんしん}主なる神が共にいてくださるという^{あんしん}安心もありません。恐れと安心の中でエレミヤは^{かたどう}葛藤しているようです。そして彼は最終的に、「^{おまか}お任せします」（エレ20章12節）と神にすべてを^{ゆだ}委ねます。

第二朗読には人間が^{いだ}抱く死への「^{はいけい}恐れ」が背景にあります。アダムの^{つみ}罪に始まって、人間は^{おか}罪を犯します。罪は死をもたらします。死への「^{はいけい}恐れ」は人間を^{しはい}支配しています。この「^{おそ}恐れ」は犯してしまった^と取り返しのない^{かえ}罪への^{おそ}恐れですから、過去の出来事から生まれる^{おそ}恐れといえるでしょう。しかし、「^{めぐみ}恵みは罪とは^{ひかく}比較になりません」（ロマ5章15節参照）。イエス・キリストを通じて、^{おほ}恵みが「^{おほ}多くの人に^{ゆた}豊かに^{そそ}注がれるのです」（15節）。

福音朗読では「^{ひとびと}人々を^{おそ}恐れてはならない」（マタ10章26節）とイエスさまは^{よび}呼びかけます。なぜなら「^{あなた}あなたがたは、^{すずめ}たくさんの雀よりもはるかにまざっている」（31節）からです。「人々」とは、イエスさまに^{てきたい}敵対する人たちのことです。もし、イエスさまのことばを人々に^{はな}話したら、いじめられるのではないか、^{はくがい}迫害されるのではないか、^{でし}弟子たちは近い将来に^お起こるかもしれない出来事に「^{おそ}恐れ」を抱きます。今日の福音ではもう二回「^{おそ}恐れるな」と呼びかけます（28、31節）。

弟子たちはこれから起こることへの「恐れ」だけでなく、今、いのちへの「恐れ」も抱いているようです。死への「恐れ」かもしれません。あるいは神さまへの「恐れ」かもしれません。それに対してイエスさまは、神さまは「髪の毛までも一本残らず数えて」おられると語り、「恐れるな」と勧めます。

このように「恐れ」には未来のことをあれこれ思う「恐れ」、今の自分自身のことで直面する「恐れ」、そして過去の出来事から引き出される「恐れ」という三つの姿があるようです。

「人々」に対して、「いのち」に対して、そして「罪」に対して「恐れ」を抱いているなら、イエスさまの仲間であると正直には語れません。しかし、神さまに信頼し、敵対する人々に対して堂々とイエスさまの仲間であると表明できたとき、「恐れ」から解放され、「恵み」を生きるようになるのです。

今週の聖句

二羽の雀が一アサリオンで売られているのではないか。だが、その一羽さえ、あなたがたの父のお許しがなければ、地に落ちることはない。(マタ 10 章 29 節)

現代もそうですが、イエスさまの時代も雀はガリラヤではありふれた鳥でした。イエスさまの時代には雀は食物として食べられていたそうです。動物性のタンパク源としては安価で、庶民にとっては身近な食べ物だったそうです。アサリオンはローマの少額通貨で、一アサリオンは当時の一日の賃金一デナリオンの十六分の一にあたります。二アサリオンで一日分のパンが買えました。一羽ではもうけが少なくて売り物にならないから、二羽ずつ売っていたのでしょうか。

29 節の後半は興味深いです。ギリシア語本文を直訳調に訳すと「しかしそのうちの一羽すらも、あなたたちの父なしに地上に落ちることはない」となります。佐藤研先生はこの箇所を注釈し、「すなわち、地に落ちる時には神が支えつつ、共に落ちてくれる、の意」としています。父なる神さまは、いのちの生殺与奪の権利をもった支配者ではなく、いのちを支え、共にあるお方なのです。そこに神さまの優しさがあります。

修道院からのお知らせ

南雲正晴神父さんが瀬田修道院に赴任してきます。また現在、杉浦信之修道士さんがお手伝いで瀬田修道院に滞在中です。皆さま、お祈りとともによろしくお願い致します。